

第2章 浜松市の教育理念

1 未来創造への人づくり

本市は、「未来へかがやく創造都市・浜松」を築くことができる「人づくり」を目指しています。「人づくり」においては、子ども一人一人を大切に、子どもの可能性を最大限に伸ばすことが大切です。そのために、「夢と希望」「資質や能力」「自分らしさ」を大切にした教育に取り組んでいきます。

子どもは、「夢と希望」を持つことによって、「ひと・もの・こと」に関わり、困難や失敗を乗り越え、これからの社会を生き抜くために必要な資質や能力を育んでいきます¹。また、子どもは「資質や能力」を育むことによって自分の可能性を高め、「さらに自分を向上させたい」「他者や社会のために役立ちたい」といった新たな「夢と希望」を持つようになります。「夢と希望」に向って生き、自分が持つ「資質や能力」を育みながら力強く生きる子どもは、心が耕され、正しい判断力や価値観に基づいた「自分らしさ」をその成長に応じて少しずつ築いていきます。子どもは、全ての成長段階で、このような学びや育ちを何度も繰り返しながら未来を想像できる「人」に成長していきます。



2 市民協働²による人づくり

子どもは、様々な場で、多くの「ひと・もの・こと」と関わりながら育っています。それゆえ、園・学校、家庭、地域の全てを育ちの場として捉え、市民総がかりで「人づくり」に取り組んでいくことが大切です。

園・学校は、家庭や市民活動団体³、事業者などと協働することによって教育の質を向上させていくことができます。また、家庭は、園・学校、行政、市民活動団体、事業者などと連携・協力し、基本的な生活習慣を身に付けさせる中心的役割を果たしていくことができます。さらに地域では、市民活動団体や事業者などが、子どもの安全・安心を保障したり、子どもに遊びや学びの場などを提供したりすることで、子どもを見守り育むことができます。

このように、市民協働による子どもの育みの可能性は広がっており、本市はこのような人づくりを重要な手段としていきます。



¹ 子どもが能動的学習を通して自らの「資質や能力」を身に付けていくことを「資質や能力を育む」と表現している。

² 様々な地域課題の中で、行政あるいは市民だけでは解決できない課題などに対して、市民活動団体などと行政がお互いの不足を補い、また、自立したパートナーとして協力し合い、その課題解決に取り組むこと。

³ 市民のうち、自らの価値観、信念、関心に基づき、市民生活と地域社会への貢献を目的として活動する任意団体やNPO法人、町内会などの団体の総称。